

令和2年度 竹野3小連合自然学校

令和2年12月2日～4日

今年度は、県立南但馬自然学校での冬の自然学校でした。2泊3日という短い期間ではありましたが、「発見・感動・仲間とともに躍動」できた3日間でした。

1日目 朝来山登山・星空観察

待ちに待っていた自然学校の初日。学校を出るときには雨が降っていましたが、県立南但馬自然学校に近づくにつれ雨も上がり、登山をすることができました。

かなり急な坂道を登って行きました。木と木の間から青空が見え自然を楽しみながら歩きました。一生懸命歩くと汗が出るほどでした。展望台に到着し、そこから見る景色は最高でした。おいしいお弁当を班の仲間と食べ元気いっぱいになりました。講師の方から下山する前に、ほどけない靴紐の結び方「ベルルッティ結び」も教えていただきました。



夜には、星空観察を行いました。冬の夜空は澄んでいても星がきれいに見えました。星にまつわるお話をたくさん聞かせていただきました。学習した「夏の大三角」が冬にも頭上に見えていることに驚いていました。天体望遠鏡を使って、「火星」と「すばる」を見せていただきました。自然の偉大さや美しさを再発見できた1日でした。

2日目 隠れ家作り・キャンドルサービス

山の中に、班で協力して隠れ家を作りました。事前学習の時から、とても楽しみにしていた活動です。まずは、ロープワークでロープの結び方を学習しました。その後、山の木と丸太を結んだり組み合わせたりして、班でオリジナルの隠れ家を作りました。ブランコがあったり2つの班が合体したりと、作っている間にどんどんアイデアが浮かんだようでした。ロープの結び方もバッチリで、班のみんなでも乗っても壊れない頑丈な隠れ家を作ることができました。



夜には、キャンドルサービスをしました。今年はろうそくを使って室内で行いました。みんなで、ゲームをして楽しんだり班ごとに振り返りの発表をしたりしました。今年は、発表までの時間が短く練習時間が少なかったですが、それぞれレクリエーション係を中心に準備をしていました。最後には、ろうそくに火を一人一人に分火し静かに自然学校を振り返りました。



3日目 陶芸教室・カートンドッグ作り

陶芸教室では、オリジナルシーサーを作りました。粘土と粘土をくっつける時には「どべ」をどべっと付けます。粘土を触っているうちにどんどんアイデアが浮かんできて夢中になって作成していました。友だちの作品に刺激を受けながら、工夫していました。設計図とは少し違ったシーサーになりましたが、世界に一つだけのオリジナルシーサーを作ることができました。



昼食には、カートンドッグを作りました。パンにキャベツとソーセージを挟みアルミホイルで巻きます。それを牛乳パックに入れ火をつけ、牛乳パックが燃えきると完成です。アルミホイルを開けてみると、こげてしまっているところもありましたが、自分たちで作ったカートンドッグはとてもおいしかったです。



今年は短い自然学校でしたが、今年だからこそできたこともありました。この自然学校を通して、仲間と共に多くのことを体験し、成長できた3日間でした。